

よ。ぜきん者中に あきんの同伴者 での子の試合 そりやあきんが怒鳴り 集中子が怒鳴り 桃2人が怒鳴り

パク・インビの優勝で幕を閉じた米女子ツアー第2戦ホンダタイランドで珍事が起きていた。

まず、選手たちを悩ませたのはタイ人ギャラリーのマナー。ところ構わず携帯で電話をかける、写真を撮るの狼藉放題。そのため集中力を削がれ、アドレスを仕切り直するプレーヤーが続出した。

藍や美香もこうした「携帯被害」に遭遇。珍しく藍がイライラするシーンもあった。

しかし、最大の珍事に見舞われたのは上田桃子。同伴競技者がラウンド中に怒鳴り合っているのを見かねるといって前代未聞の事件に巻き込まれた。

大会3日目、桃子のパートナーは個性派で知られるフリエタ・グラナダ(パラグアイ)とキャロライン・ヘドバル(スウェーデン)。2人ともやや神経質なところがあり、序盤からプレー中の相手のちょっとした行動にお互いイライラを募らせていた。

そして険悪なムードに拍車をかけたのが13番で競技委員からスロープレーの警告を受けたこと。娘のバッグを担いでいたグラナダの母親が歩測をしていると、その方向に向かって打とうとしていたヘドバルが「邪魔だ!」と激昂。するとグラナダも「母親を侮辱するな!」と激昂。声を荒げて応戦したという。

しまいはお互い泣き出したとあって、桃子は「こ

んなの初めて。最悪でした」と疲労感を滲ませた表情。結果も52位とふるわなかった。



イライラする!(ヘドバル)



もうイヤダ!(グラナダ)

写真: Getty Images

会社更生手続中の太平洋クラブのスポンサー選定で、会員組織が推すマルハンが一段と優位に立ったことが明かになった。

本誌先週号既報の通り、太平洋クラブのスポンサー選定では、1次入札をマルハン、ゴールドマン・サックス(以

下、GS)、それに未だに社名が明かになっていないもう1社の合計3社が通過。このほかPGMが「補欠」の扱いになっている。このうち、マルハンが会員組織、新・太平洋クラブ創る会(以下、創る会)推薦の大本命。GSとの一騎打ちになると見られていた。

マルハンで ほぼ決まり? 太平洋クラブ スポンサー 選定進む

そこへ、今回マルハンが太平洋クラブの各コースに設定されている、親会社であり筆頭債権者である太平洋クラブホールディングス合同会社(以下、GK)が保有する担保権を取得したのだ。

会社更生手続では無担保の一般更生債権者(会員)と、担保を持つ更生担保権者(GK)とで、別々に更生計画案への賛否を問う。前者の決議ではマルハンが賛同を得られない可能性が残っていた。

それが今回マルハンがGKから担保付きの債権を買ったことで、マルハンが自分で自分に投票すればよくなった。このように担保付きの債権は、会社更生手続でも民事再生手続きでも、スポンサーの座を獲得する上で最も重要な鍵になる。民事再生の際のスポンサーだったアコーディアはGKから担保付き債権を取得しないままスポンサーの座の獲得に失敗した。しなかつたはずはなく、さなかつた。と見るべきだろうか。今回もGSとの担保付き債権の争奪戦がなかつたはずがない。いわば「場外乱闘」を制したマルハン。創る会の世話人である西村國彦弁護士も「かねてから取得をお願いしていたが、これに答えていただけただようだ」として歓迎している。

マルハンの勝利はほぼ確実な状態になったが、残る候補者はどう巻き返すのだろうか。

次号「フイニッシュで左に9割。これでもっと飛ぶ!」は3月12日(火)発売です